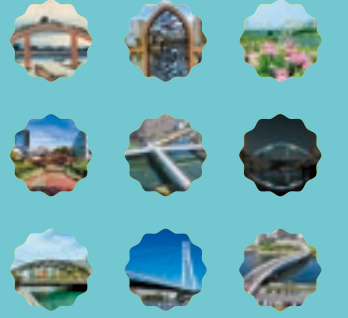


水辺豊かなエリアで橋さんぽにでかけよう!  
連続にこれ! 1冊1冊形式別MAP付き

# 江東区 橋めぐりマップ

KOTO CITY BRIDGE MAP



## よりみちが楽しい! 江東区の橋さんぽ

**特徴ある高欄と親柱!**  
橋の側面にある欄は、一般的には「欄干(らんかん)」と呼ばれ、専門的な用語で「高欄(こうらん)」ともいいます。歩行者の転落を防ぐために設けられ、デザインが凝っていたり、中央部にレリーフがはめ込まれている橋もよく見かけます。それらは橋のシンボルや町・川の歴史などを表しており、渡る人の目を楽しませてくれます。また、高欄の両端に立つ太い柱は「親柱(おやばしら)」といい、橋の名前が記されています。



**平久橋** MAP 25-27  
橋の名前は、橋の名になんて「平(へい)」と「久(きゅう)」を表現した親柱が

**小松橋** MAP 27-11  
「出合(い)」をテーマに親柱を整備。高欄とレリーフは行き交う船がモチーフで、水上の出会いを表す

**鶴歩橋** MAP 28-32  
町名の鶴歩町から橋名を付けたことにちなみ、鶴をモチーフにした親柱が設置



さまざまな構造やデザインを楽しむのはもちろん、もう一つ注目したいのが、橋のたもと近くに設置されたモニュメントや構造物。町や川の歴史を知るヒントが隠れていることも、また、橋詰(橋各敷)にベンチと共に設けられ、ひと休みできる場所になっている場合もあります。



**震災復興橋梁**  
1923年(大正12年)に関東大震災が発生しました。震災前の東京市の橋は、大部分が木橋で、半分以上が被害を受けました。震災直後から1930年(昭和5年)にかけて、復興事業の一環として架けられた橋は「震災復興橋梁」と呼ばれ、耐震耐火構造で架けられました。現在、区管理の震災復興橋梁は15橋残っています。

**古石橋** MAP 25-11  
連続する桁の空間間にベンチを設けた突前(ツルバー)橋とも言う)が特徴

**千田橋** MAP 25-9  
主桁と主桁などの主構造が桁間以上にならなくて方角的に連続している連続橋

**福寿橋** MAP 25-28  
架設から100年近く経過後、都市景観重要建築物として指定されている

**新高橋** MAP 25-12  
主桁の下端に道路がある「下路橋」。主桁が大きいのがこの橋の特徴。連絡橋の位置は「上路橋」「中路橋」「下路橋」に分類される

**築島橋** MAP 25-14  
主桁の下端に道路がある「下路橋」。主桁が大きいのがこの橋の特徴。連絡橋の位置は「上路橋」「中路橋」「下路橋」に分類される

**大栄橋** MAP 25-13  
橋脚が並行して並ぶ構造

**新久保橋** MAP 25-29  
橋台には幸徳秋水の銅像とレリーフの彫刻。橋名は幸徳秋水の字にちなみ、橋をモチーフにした三本の柱

**西深川橋** MAP 25-30  
橋台には幸徳秋水の銅像とレリーフの彫刻。橋名は幸徳秋水の字にちなみ、橋をモチーフにした三本の柱

**新橋** MAP 25-31  
橋台には幸徳秋水の銅像とレリーフの彫刻。橋名は幸徳秋水の字にちなみ、橋をモチーフにした三本の柱

**崎川橋** MAP 25-32  
橋台には幸徳秋水の銅像とレリーフの彫刻。橋名は幸徳秋水の字にちなみ、橋をモチーフにした三本の柱



**浮世絵に描かれた万年橋**  
江東区は、江戸時代以降、多くの河川・堀割が開削され、橋の数が多くなり、橋と水辺の情景は、歌川広重や葛飾北斎などの絵師に描かれてきた。当時の橋が写された作品が残されています。当時の橋を再現し、その当時の情景を見ることができ、楽しみの一つです。

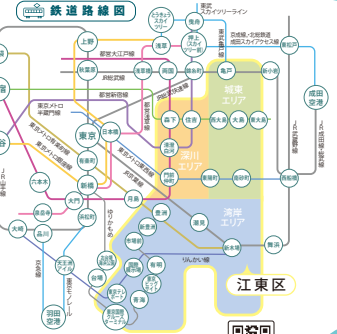
**万年橋** MAP 2-35  
葛飾北斎

**歌川広重**  
江戸時代中期の浮世絵師。橋と水辺の情景を描いた作品が数多く残されています。代表作に『東都物語』などがあります。



## 江東区への交通アクセス

江東区内には、JRや地下鉄が走り、東京駅や新宿駅などのターミナル駅・主要駅などの主要観光地から30分圏内に、アクセスに便利なエリアです。



## 橋さんぽに便利なおでかけ情報

**区内の詳しい橋情報**  
江東区観光情報公式LINE「KOTOおでかけバス」  
観光スポットや区内の新しい魅力を見ることができるサイト

**区内のイベントや観光情報**  
江東区観光情報公式LINE「KOTOおでかけバス」  
観光スポットや区内の新しい魅力を見ることができるサイト

**区内のイベントや観光情報**  
江東区観光情報公式LINE「KOTOおでかけバス」  
観光スポットや区内の新しい魅力を見ることができるサイト

## なんでも一番! オンリーワン!

区内にある数多くの橋の中には、歴史的な背景など際立った特徴を持つ橋があります。日本初の国産鉄橋や昭和の時代に物流で都市の発展を支えた橋が歩道橋として生まれ変わったというユニークな橋など、江東区で見ることができない唯一の橋が多くあります。



## 季節の花が楽しめる橋

春になると、川沿いに植えられた桜やあじさい、牡丹などが咲き誇り、水辺の景観に彩が添えられます。花と橋の組み合わせは人気のフォトスポット。花の遊歩道を散策しながら、季節を楽しみましょう。毎年、開花に合わせてイベントも行われます。



## ユニークな構造の橋

江東区内には、見た目にもユニークな構造を持った橋も数多くあります。どれも、その地域の人々の交流を図るために、さまざまな工夫を凝らした結果生まれたもの、ほかにはあまり見られない個性派の橋をご紹介します。



## 夜景が綺麗な橋

季節だけでなく、オレンジやライトアップなどのイベントにもライトアップの色が変わる。写真は、年に一度のクリスマスカラー



## ふれあい橋

季節だけでなく、オレンジやライトアップなどのイベントにもライトアップの色が変わる。写真は、年に一度のクリスマスカラー

